

輝け 常葉っ子

小中合同集会



11月20日(月)に小学1年生から中学3年生までの児童・生徒による合同集会を、常葉中学校生徒会主催で2箇所に分かれて行いました。縦割りの①～⑫の班は小学校の体育館に、⑬～⑳の班は中学校の体育館に集いました。初めに常葉中学生代表のあいさつがあり、その後、小中学生が入り交じって「誕生日順に並べ」、「ピンポン玉リレー」というゲームをしました。無言のルールを皆守れたのも素晴らしいと思いました。小学生と中学生が、一緒にレクリエーションをしたりするなど、今年度もとても意義のある交流集会をすることができました。



小中特別支援学級交流会

11月22日(水)に小中一貫教育の一環として小学校「わかば学級」と中学校「ときわ木学級」との交流会が行われました。松ぼっくりツリー作りのための材料は中学生が準備してくれました。中学生に手伝ってもらいながら楽しく作っていました。その他にも松ぼっくり工作、けん玉遊び、マラカス、花の種のプレゼント等楽しい活動が続きました。

上級生が下級生を思いやり一緒に活動することにより、コミュニケーションが高まり、主体的に学習する姿が素晴らしいと思いました。



22日(水)の特別支援学級交流会と同じ頃、5年生と常葉町老人クラブ連合会の役員さん15名が落ち葉拾いと片付けを行いました。

初めての取り組みでしたが、子ども達も一生懸命、役員の方達も一生懸命、持ってきていただいた何台ものトラックに落ち葉が一杯になりました。そういえば、毎朝4年生が自主的に落ち葉をはいてくれていましたね。それもすっかりきれいになりました。感謝!



～ちょっといい話～ 裏面ごらんください。

優しさあふれる図書室



～ 1年生の授業風景より ～

2023年 11月
図書支援スタッフ
須田由美子

私はカウンターで返却する児童へ、証明のスタンプを押していました。

女子児童Aさんが私に、

「先生、Bちゃんの借りた本 私も読みたい……。おんなじのが読みたい。」

と、グズグズ駄々をこねるように言いました。かわいい折り紙の本です。私は、

「似たのはあるけど、1冊しか無いから、しょうがないね。順番に次借りな。ごめんね。」

と、Aさんにやさしく伝えました。すると、

「えええ～。どうしても読みた～い……。」

Aさんは、がっくり…肩を落として戻っていきました。

時間がたち、そろそろ教室へ戻る時間になるとAさんが私の所に来て、

「先生！折り紙の本探したらあったから借りれたよ！」

と、嬉しそうに教えてくれました。どうやら戻った後、他に折り紙の本が

無いかBさんと探したそうなのです。困っている友達を助けようとする

Bさんの行為はすばらしいですね。

常葉小学校の図書室では時々見る光景です。借りる本を選ぶことが出来ない友達に、「この本はどう？」と本を選んで進めてくれるのです。1年生でも同じように探してあげています。



もう一つは、教室から図書室へ移動する時、女子児童のCさんが私に、

「先生、D君が持ってる本、私も読みたいんだけど一人じゃ言えないから手伝ってください。」

と、言いました。心配な事を助けて欲しいと伝えられるのは良いことですし、その時、私は突然頼まれたので少しびっくりしました。勿論、私は承諾をし、みんなで図書室へ移動しました。

移動中、私は考えました。Cさんが自らD君へ、読みたい気持ちを伝えた方がいいなあ…と。

図書室に到着すると、D君は少し送れて来ました。私はCさんと

一緒にD君の所へ行き、

「D君、Cさんが伝えたい事があるそうなので、聞いてくれますか？」

そう伝えると、D君は少しびっくりした様子でしたが、

「はい…」

と、答えてくれました。D君が持っていたのはこびとの本です。

CさんはD君の顔を見ながら、

「その本、読みたいから見せて。」

と、伝えることが出来ました。するとD君は、ああこの本ね…といった表情、元気な声で、

「うん、じゃ今一緒に見ようよ！」

と、にっこり笑って言ってくれました。その後、2人仲良く本を読んでいた。



1人では難しい事も、先生や友達の力を借りれば解決できることが沢山あります。自分さえよければいい…そんな考えでいけば、2つのエピソードは生まれなかったでしょう。

Aさんの私も借りたい…という気持ち、よく解ります。順番に借りる事も大切です。

D君は、まだ持っていた本が読みたかったのかもしれませんが。読んで楽しかったからCさんと一緒に読んで教えてあげようとしたのかもしれませんが。「いいよ」と本を渡せば済みます。

でも、D君はCさんの気持ちも考えてとても素敵なお返事を返してくれました。D君が本を読んで楽しかった気持ちも渡してくれたような、そんな嬉しい思いがしました。

この日の図書室は、1冊の本を友達と一緒に見る子、「もっと、こっちに…」と場所をゆずる子やさしい気持ちがあふれた図書室はいいなあ…と嬉しくなる出来事でした。